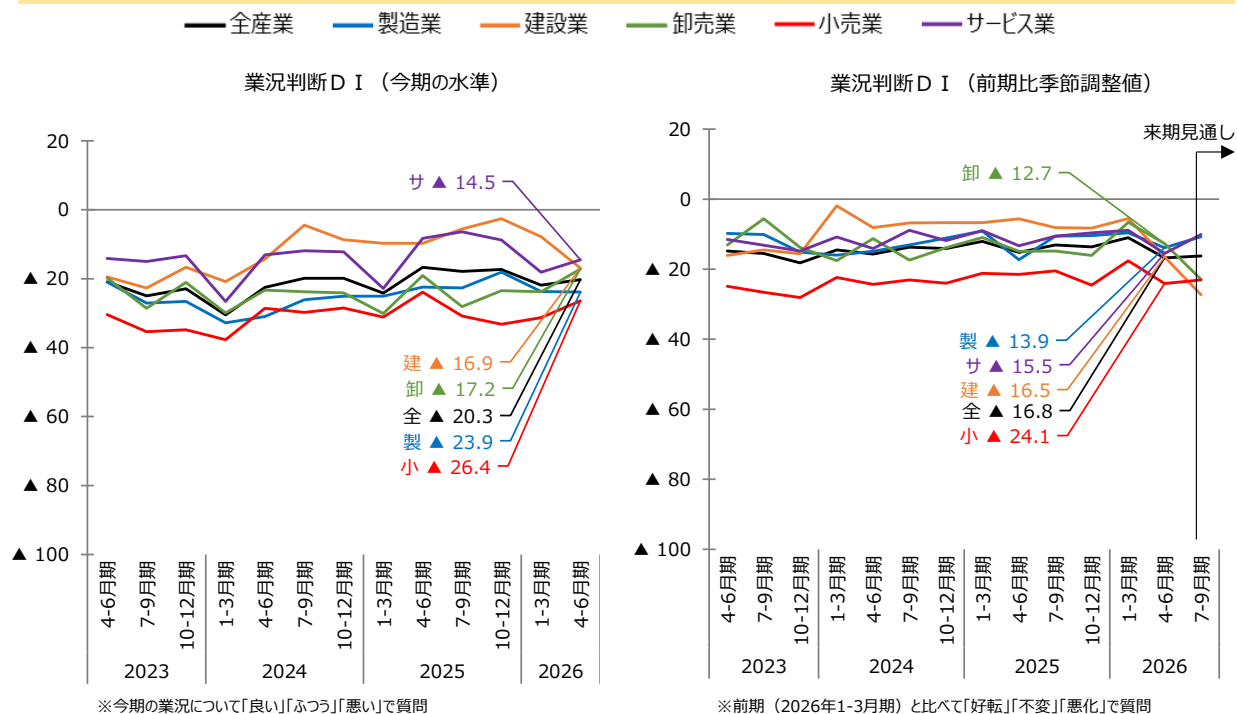


第184回 中小企業景況調査（2026年4-6月期） 中部

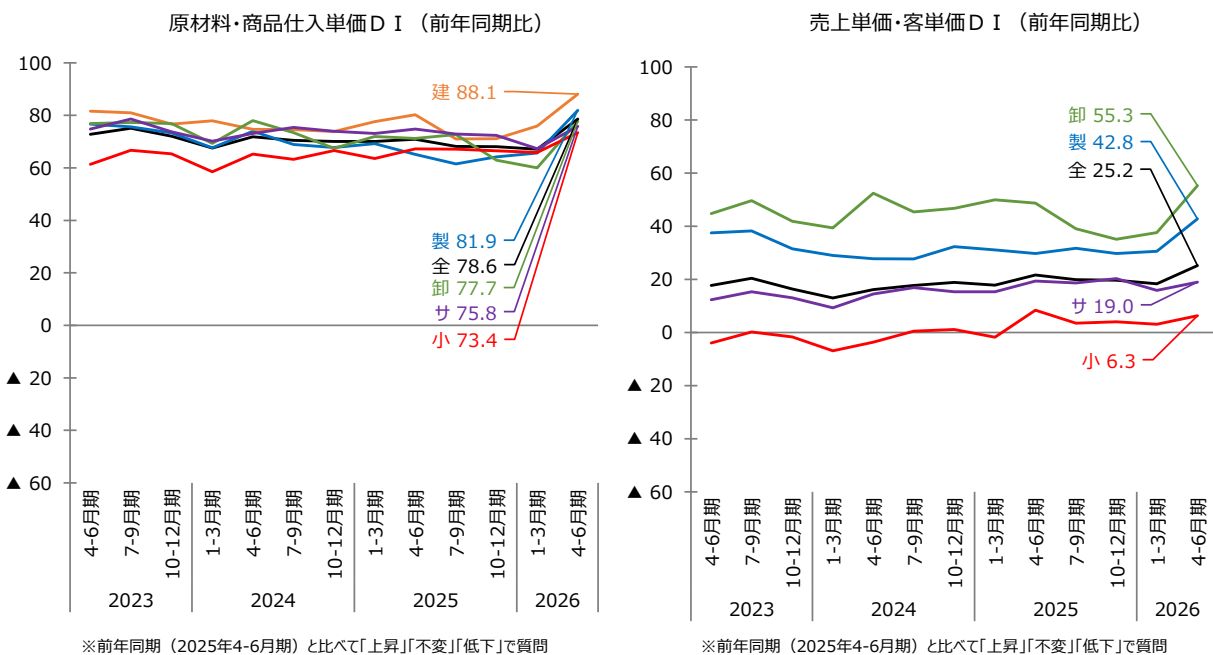
1. 業況感

中部地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2026年1-3月期）より1.6ポイント増の▲20.3と2期ぶりに上昇した。産業別にみると、卸売業、小売業、サービス業で上昇し、建設業、製造業で低下した。



2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より11.5ポイント増の78.6と4期ぶりに大幅に上昇した。産業別にみると、すべての産業で上昇した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より6.9ポイント増の25.2と4期ぶりに上昇した。産業別にみると、すべての産業で上昇した。



＜調査概要＞ 調査時点は2026年6月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,834 有効回答企業数：17,734 有効回答率：94.2% うち、中部：2,281企業

※本資料の集計対象の都道府県は、富山県、石川県、岐阜県、愛知県、三重県です。

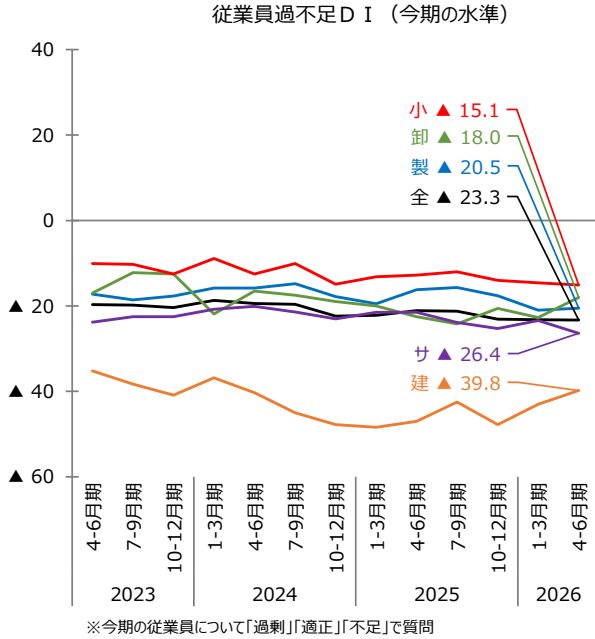
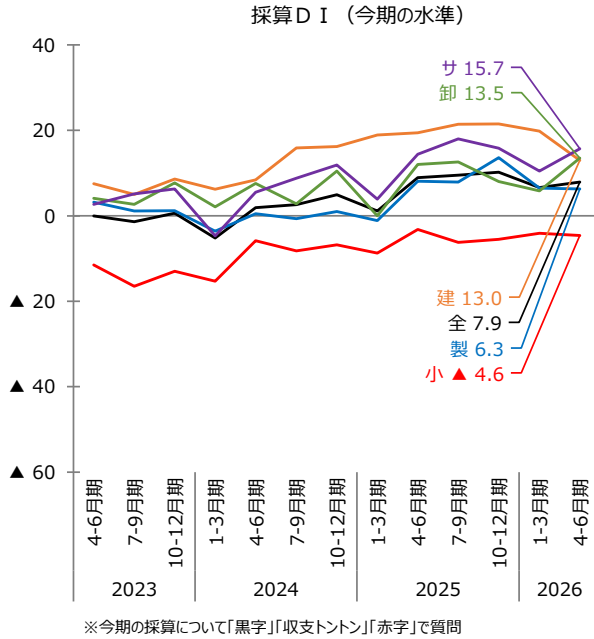
第184回 中小企業景況調査（2026年4-6月期） 中部

3. 採算

採算DIは、全産業で前期より1.3ポイント増の7.9と2期ぶりに上昇した。産業別にみると、卸売業、サービス業で上昇し、建設業、小売業、製造業で低下した。

4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より0.1ポイント減の▲23.3と4期連続してやや低下した。産業別にみると、卸売業、建設業、製造業で上昇し、サービス業、小売業で低下した。



5. 中部の中小企業の声

業況判断の背景		業種
現状	前年度の価格交渉による売上単価上昇が見込まれる一方、値上げ前納入や在庫調整で受注は低調。資材・原料高騰によるコスト増が懸念されるが、サイト短縮により資金繰りは改善している。	製造業 医薬品製剤製造業
	中東情勢による材料の入手困難に加え、新築が減少しているのでリフォームに参入する業者が増えた印象。	建設業 木造建築工事業
	中東情勢の影響で、5月から原材料の高騰による仕入原価の高騰に加え、物流費や梱包材など経費の高騰がある。一番深刻なのは、現在受注した商品が納品できるのかが不透明なため、新規受注が取り難い環境になっていることだ。	卸売業 織物卸売業 (室内装飾織 雑品を除く)
	中東情勢の影響を受け、塗装材料や合板、ウレタンの納期遅延及び仕入価格が上がっている。今後、商品の売価に転嫁していく必要があるが、さらなる需要の停滞を招く恐れがあり、価格転嫁の程度の見極めが難しい。	小売業 家具小売業
	観光バスはアメリカ・イランの戦争によりインバウンドの仕事が減っている。	サービス業 一般貸切旅客 自動車運送業
見通し	中東情勢の問題で材料の入手困難や小材料の大幅な値上20%~40%のため、来期の見通しなし。今期手持ちの材料があったためなんとか対応できたが、今後はわからない。	製造業 畳製造業
	材料が入手できず、工事計画が立てられない。そのため、今後の売上の見込みが立たない。	建設業 建築金物工事業
	ホルムズ海峡封鎖による原材料の供給不足により、プラスチック食器類や陶磁器食器類の製造が制限され、仕入商品の供給不足で売上・利益の見通しがつかなくなっている。	卸売業 他に分類されない その他の卸売業
	特にエアコンについては2027年問題が大きく取り上げられ、機種によっては品不足、在庫なし。また、部材なども高騰。在庫切れが続出している。LED化についても同じでしばらく市場は悪化すると見込んでいる。	小売業 電気機械器具 小売業(中古品を除く)
	生活物価全般が上がっているため、顧客の車のキズ・ヘコミ修理に対する財布の紐が固くなるのが心配。ナフサの調達難に伴うシンナーや塗料の急激な値上げや欠品が心配。	サービス業 その他の自動車整備業

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)